

兵庫の林業

主伐・再造林低コスト普及モデルの展開
森林環境譲与税の活用事例（神戸市・姫路市）



もくじ

ひょうご里山フェスタ2024	1
大臣表彰の紹介	2
主伐・再造林低コスト普及モデルの展開	3
△普及だより▽	4
主伐再造林に向けての林業事業者によるシカ捕獲体制整備支援の取組み	5
「第28回六甲山の災害展」を開催しました!	6
森林環境譲与税の活用事例	7
国家技能検定「技能士」を目指して	8
「第39回ひょうご木材フェア」木材利用促進キャンペーンin神戸	9
花粉の少ない森林づくりシンポジウムin兵庫県	9
まもなく狩猟のシーズンです!	10
森林林業技術センター公開デー	11
「ひょうごの木の家」設計支援事業	11
木材市況・住宅着工数等の報告	11
2025農林業サンセス	12
「ひょうごの木の話」第10回(裏表紙)	

表紙の写真

マツタケはキシメジ科キシメジ属のきのこで、共生相手のアカマツの根から栄養をもらい生活している外生菌根菌の一種になります。菌根菌であるため栽培が難しく、いまだに人工栽培ができません。

栽培ができないことに加え、アカマツ林が減少することでマツタケの生産量は大幅に減少しています。県内の生産量は、平成元年には22トンでしたが、平成20年には1.4トン、令和3年には0.2トンまで減少しています。近年は、温暖化の影響から発生時期が大幅に遅れることによる発生期間の短縮も報告されており、ますます「希少」になっています。

(森林林業技術センター 藤堂)

令和6年11月3日(祝、日) 森づくり普及啓発全県イベント 「ひょうご里山フェスタ2024」を宝塚市で開催

1. 開催趣旨
県民が里山への理解を深めるとともに、里山を守り育てる意識醸成の場として位置づけ、宝塚市を開催市町とし、豊かな里山に囲まれた西谷地区のご真ん中、宝塚市立西谷中学校（大原野地区）で「ひょうご里山フェスタ2024」を開催します。



告知チラシ

2. 重点方針
市制70周年を契機として、西谷地区を中心に都市近郊に位置しながらも、豊かな里山と伝統文化が数多く残る開催市・宝塚市の魅力と特色を活かした企画・運営とします。

3. 開催日時
令和6年11月3日(日) 9:30~15:00

4. 開催場所
宝塚市立西谷中学校(宝塚市大原野地区)

5. 開催テーマ
未来へ守りつなぐ私たちのTAKARA里山

6. 開催に当たってのポイント
(1) ユースサポーターの設置
森林や緑化について学ぶ県内学生で構成する「ユースサポーター」を結成しました。当日は、ユースサポーターが企画したステージイベント等を、是非、お楽しみください。



ユースサポーター (R5)

(2) 西谷地区魅力体験イベント企画部会の設置
里山フェスタ開催を通じて里山や西谷地区について関心を抱いた参加者が、より理解を深めるこ

とができるよう、里山をテーマとした西谷地区魅力体験プログラムをアフターイベントとして開催します。

地域住民による企画部会を設け、地域主導により企画・運営を行います。

- 7. 主なステージプログラム (特設ステージ)**
- ・10:00~10:30 プロローグ演奏
兵庫県警察音楽隊が演奏を行います。
 - ・10:30~12:00 式典
緑化作品コンクール等の林業・緑化関係表彰を行うほか、兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会会長による森林ボランティア活動報告、宝塚市立西谷小学校児童による宣誓、記念植樹などを行います。
 - ・12:10~14:40 ステージ企画
宝塚市立西谷中学校吹奏楽部と兵庫県警察音楽隊によるコラボ演奏を皮切りに、伐木チャンピオンシップ大会出場者(北但西部森林組合)によるチェンソー実演、ユースサポーターによる参加型のステージを催します。



緑化作品コンクール等表彰 (R5)

8. 展示・販売ブース
緑の募金や緑化作品コンクール作品展、里山をテーマとした展示、どんぐりなど使ったクラフト体験などのブースを設けます。毎年、人気の土石流実験装置を使ったデモンストラクションも予定されています。



土石流実験装置 (R5)

また、地元食材等の販売や、里山の恵みであるジビエ料理などを提供する飲食ブースも出展します。その他、県立ふるさとの森公園の一つである「宝塚西谷の森公園(境野地区)」をサテライト会場とし、「やしろの森公園」「なか・やちよの森公園」「国見の森公園」「ささやまの森公園」のブースが同公園に集結します。

是非、サテライト会場にもお越し下さい。

9. アクセス
会場に隣接する宝塚市立西谷小学校グラウンド等を

臨時駐車場とするほか、会場と臨時駐車場、サテライト会場(宝塚西谷の森公園)、JR武田尾駅等を結ぶシャトルバスを朝8時から運行します。

10. プレイベント「里山林整備体験プログラム」
(1) 開催日時
令和6年10月26日(土) 9:30~15:00

(2) 開催場所
宝塚市立西谷小学校グラウンド集合。大原野地区の里山林(森林ボランティア団体「西谷里山活用実行委員会やまもり山里」活動地、宝塚市西谷県有環境林)

(3) コンセプト
人の手が必要とされる里山林についての学びの場、木を伐るワクワク感や整備後の達成感を感じられる場、各地で活躍する森林ボランティア等との交流の場とすることをコンセプトとして開催します。



里山林整備体験イメージ

(4) 主な内容
プチ・セミナー、照葉樹等の除伐体験、薪の使用体験(炊飯など)、火起こし体験(外部講師)などを予定します。参加費無料。定員は30名(先着)です。

11. アフターイベント「おやこで里山 time trip ~かやぶき屋根で過ごす、里山の味覚とくらし~」
(1) 開催日時
令和6年11月17日(日) 10:00~16:00

(2) 開催場所
宝塚市立宝塚自然の家(大原野地区)

(3) コンセプト
日常から、かつての里山の暮らしを営む“親戚の家”へとタイム・トリップ。茅葺き民家で本物の里山の暮らしを体験いただくことをコンセプトに開催します。



イベントイメージ

(4) 主な内容
柴刈り・薪割りや、昔遊びの体験プログラムをご用意します。昼食は、地元食材をふんだんに使った季節のお番菜(ビュッフェ形式)と西谷米のご飯。15時からは、焚き火・スモアandティータイムで、素敵な一時を。参加費は、一人当たり3,000円(大人・子ども共通)。定員は20名程度(申込み多数の場合は抽選)。

12. より詳しい情報、プレ・アフターイベント参加申込み
県ホームページ(「ひょうご里山フェスタ」で検索)や宝塚市のホームページをご覧ください。
(県治山課森づくり普及班 井上裕司)

令和6年度環境大臣表彰 (地域環境保全功労)

桑田 結氏(神戸市)
兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会前会長



団体間の情報交換や交流を進め、活動の輪を広げることを目的に設立された「兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会(事務局:兵庫県農

林水産部治山課)」の設立に深く関わり、平成19年度から16年間にわたり会長としてリーダーシップを発揮されてきました。会報の充実、交流会の開催、森林ボランティア活動啓発誌の発行など、活動を年々充実させ、令和6年3月末には63団体(設立時は22団体)まで会員を増やされています。その結果、会員間の交流が活発になり、県内の森林ボランティア活動がより発展したことを評価され、今回の受賞となりました。

令和6年度女性のチャレンジ賞特別部門賞 (気候変動問題等の環境問題におけるチャレンジ)

菅原 八重子氏(川西市)
虫生川(むしゅうがわ)周辺の自然を守る会会長



荒れ果てた「虫生(むしゅう)の森」をひとりで整備しはじめ、仲間を加えながら、4年の歳月をかけて住民が散策できる森の姿を取り

戻す活動を森林ボランティア団体代表として主導されています。毎年、春に林内を白い花で染めるシロバナウンゼンツツジが群生するコナラ群落は、川西市の天然記念物に指定されています。また、地域の小学校児童を受入れ、環境学習を行うなど、森林環境教育の推進にも尽力されています。こうした功績により、内閣府特命担当大臣(男女共同参画)女性活躍担当大臣から表彰されました。

主伐・再造林低コスト普及モデルの展開

兵庫県農林水産部 林務課

■はじめに

人工林資源の成熟化が進行し、今後、間伐適齢期（6～12齢級）の林分の減少が見込まれる中、「ひょうご農林水産ビジョン2030」に基づき持続的かつ安定的に県産材を供給しつつ、多様で健全な森林を次代につなぐためには、搬出間伐のみならず主伐による木材生産を進める必要があります。

しかし、主伐を進めるためには、主伐（伐採・搬出）及び再造林（植栽・獣害防除・育林）に係るコストの低減と施業の省力化や、確実な更新の阻害要因となる積雪・獣害等への対応が課題となっています。

このため、兵庫県では、令和元年度から4年度に実施した主伐・再造林の事業地から収集したデータを分析して得られた知見や現地調査結果や既往研究等を元に、森林所有者への利益還元と確実な森林の更新が期待できる施業システムをまとめた「主伐・再造林低コスト施業システム」を作成しましたので紹介します。

■現場条件

1 森林の材積

主伐・再造林事業地から収集したデータによると、収益を確保するためには、林分からの搬出材積がスギでは400m³/ha以上、ヒノキで300m³/ha以上あることが必要でした。

このため、林分の材積は造材率（利用率）がスギ、ヒノキとも70%程度であることから、スギ林分で600m³/ha程度、ヒノキ林分で450m³/ha程度あることが望ましいと言えます。

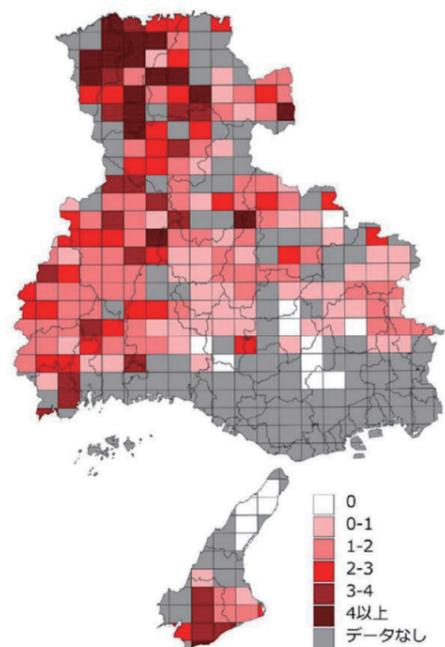
2 平均胸高直径

木材市場での丸太の販売単価は、末口径が40cmを超える大径材になると1mあたり単価が下がる傾向があります。これは、大径材に対応できる大規模製材工場に限られることや、大径材の用途が少ないためです。

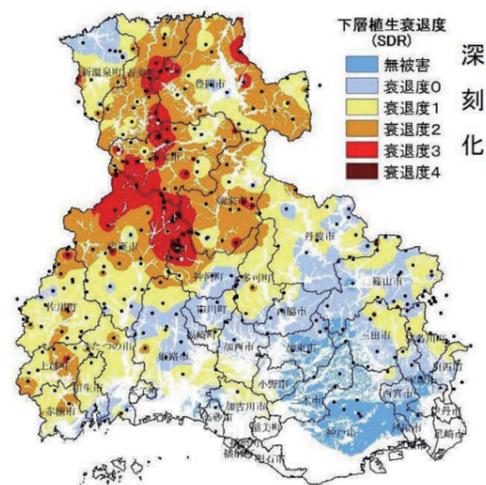
このため、元木4m丸太の末口径40cmから換算して、胸高直径44cm程度未満の林分が売上げの面では有利になると考えられます。言い換えれば、高齢林だからといって丸太売上げが高くなる訳ではないことを考慮する必要があります。

3 シカの影響

確実な更新には、シカが多すぎず、餌となる下層植生があることが重要です。このため、シカの生息密度の指標である、目撃効率（SPUE）が3.0未満、シカ食害による植生への影響の度合いを示す、下層植生衰退度（SDR）が0～2である現場であれば、防護柵の設置によってシカ等の食害を軽減させ、植栽木が生育する可能性が高いことが分かりました。



シカ目撃効率（SPUE）の状況（R3.11-12）



下層植生衰退度（SDR）の状況（R4）

■施業方法

1 生産性の高い施業条件

事業地から得られたデータを元に、生産性に影響を与える因子について分析した結果、12～13tクラスのプロセッサやグラップル及びフォワーダ等の林業機械を主伐作業に使用すること。さらに、林道・作業道については、林内の路網密度が200～250m/haと高密度路網で、かつフォワーダ運搬距離1,000m以内とトラックが通行可能な道から近いという条件が重要となります。

また、苗木の運搬や地拵えに林業機械を使って効率を高めることや、コンテナ苗を使った低密度植栽（2,000本/ha等）も再造林を低コストで行うために重要な施業方法となります。



プロセッサやグラップルを使った原木生産（宍粟市）

2 適切な獣害防除（防護柵）

積雪深等の条件に応じて防護柵の仕様を変えることが重要です。特に積雪地では、支柱を耐雪支柱にすることや、立木を利用することも検討する必要があります。

また、シカの防護柵内への侵入を防ぐためには、定期的な見回りに加え、侵入方法である“もぐり込み”“跳び越え”を防ぐために、防護柵の下部にスカート状のネットを張ったり、防護柵の上側にロープを張ったりといった対策を行う事も重要です。



跳び越え防止ロープを張った防護柵（宍粟市）

3 下刈りの省力化

下刈り経費は、地拵えから下刈りまでの初期保育費用の約5割を占めると言われており、下刈り経費を削減することは、育林施業の低コスト化に大きく影響します。また、下刈りは夏季の炎天下の重労働であり、林業就業者の高齢化・減少が進むなか、労働負担の軽減及び林業就業者の確保の観点からも、省力化が求められています。

このため、雑草木による植栽木の被圧状況や雑草木のタイプによる下刈り実施の可否を判断することを提案しています。具体的には、下刈り終了の判断として、植栽木の樹高が雑草木より高い状態にあり、かつ雑草木がキイチゴ類、ススキ類など草丈が高くない種類である場合や、雑草木がアカメガシワやタケニグサなど草丈が高くなる種類であっても、年内に雑草木に追い越される可能性が低い場合は、下刈りを省略することができます。

また、アカメガシワやタケニグサ等の先駆性樹種は、刈り払い後に萌芽再生しにくいいため、5～6月の下刈り実施も有効です。



雑草木が繁茂した再造林地（宍粟市）

この他、木の梢端や枝葉等の林地残材を活用するためには、造材や運搬、チップ加工等のコスト削減が必要であり、そのための工夫について提案しています。さらに、林業事業体が事業実施後に自らコスト分析を行う事で、自発的なシステム改善につなげていくことが可能となることから、林業事業体によるコスト分析の必要性についても提案しています。

県では、主伐・再造林低コスト普及モデルの普及を通じて、主伐・再造林を推進していきます。



兵庫県HP_主伐・再造林低コスト普及モデル

（林政調整班主幹（林業普及担当）岡田英樹）

主伐再造林に向けての林業事業者によるシカ捕獲体制整備支援の取組み

但馬県民局 豊岡農林水産振興事務所

1 はじめに

成熟化が進む人工林資源の有効利用を図るためには、搬出間伐に加え主伐による原木の安定供給と主伐後の確実な更新が必要です。しかし北但地域ではシカ生息密度が高く、シカ対策の防護柵の積雪による倒壊など被害管理のみでは確実な更新が困難な状況にあります。

一方シカ捕獲は捕獲者の高齢化等でアクセスの悪い林業地では十分に対応ができていないのが現状です。

林業被害は林業事業者が担う必要性から、北但西部森林組合によるシカ捕獲体制構築に向けて令和4～5年度にOJT研修に取組みました。

2 概要（令和5年度）

「餌付け誘引くくりわな」捕獲技術のOJT研修と事業化に向けての検討会を実施しました。

※鳥獣被害防止総合対策交付金事業の高度人材育成事業を活用し専門業者に委託しています。

ア 座学 令和5年7月10日 止め刺し
 令和5年10月20日 事業化検討会
 令和6年2月2日 捕獲事業管理研修



簡易電殺器作成研修



事業化検討会

イ 捕獲実技研修

期間：令和5年7月（2週間）第1ターム
 令和5年9月（2週間）第2ターム

場所：香美町と新温泉町
 （主伐再造林地や森林整備センター植林地周辺）



くくりワナ捕獲の（ワナ設置）のOJT研修



森林組合職員による簡易電殺器による止め刺し

3 考察及び波及効果

（1）捕獲体制について

令和5年7月に森林組合職員5名が「わな免許」を取得し、第2タームでは森林組合職員が主体的に捕獲に取組み、71頭（第1ターム49頭、第2ターム22頭）のシカを捕獲しました。各個人の捕獲技術は一定のレベルに達しましたが、業務として取り組む場合、止め刺しの精神的負担や捕獲業務を担うマンパワー不足など課題も明確になりました。

（2）事業化について

美方郡各町の林業・鳥獣担当者、北但西部森林組合、専門業者、農林事務所により捕獲研修実施結果の共有と今後の事業化の検討会を開催しました。

森林組合等の法人がシカ捕獲を実施する場合、労務が発生するため、報償金ではなく継続した事業として取組む必要があります。今回のOJT研修での捕獲を積算すると間接費を含め約500万円になりました。法人が業務として実施する場合、捕獲結果（捕獲頭数）ではなくそのプロセスへの対価となるため高額となります。安価だが自分都合のボランティアな捕獲に頼るのではなく、施工管理もできるプロを育成することが今後の捕獲担い手育成には必要なことであると考えます。

いずれにせよ、農業とは異なり林業では事業者が施業を行うのが一般的であり、林道や作業道等林内路網に精通した林業事業者が個体数管理の一端を担うことは自然であると考えます。

4 今後の取組み

令和6年度は森林組合の労務不足から、専門事業者へ委託により、町境や再造林地など捕獲空白地の森林地域での捕獲に取り組んでいます。事業実施にあたっては、再造林地周辺の捕獲等の地元調整等で森林組合と専門事業者が連携して実施しています。

（森林課 雑賀 謙彰）

「第28回六甲山の災害展」を開催しました！

兵庫県神戸県民センター六甲治山事務所・農林水産部治山課

■はじめに

神戸・阪神地域に豊かな緑と潤いを与えている六甲山ですが、過去には豪雨等による土砂災害が度々発生し、復旧を繰り返してきた歴史があります。この歴史を忘れることなく、今後の防災・減災活動に活かしていく取組として、8月14日から25日までの間、神戸市の阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターで「第28回六甲山の災害展」を開催しました。

■平成7年阪神・淡路大震災特集展示

令和7年1月17日に阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えるにあたり、震災の経験と教訓を繋いでいくため、阪神・淡路大震災の際に発生した被害と復旧状況をパネルで紹介しました。



阪神・淡路大震災30年特集展示

■六甲山の災害と復旧の歴史紹介

明治以降に、木が生えていなかった六甲山に植林を進め、豊かな緑を取り戻すことができた歴史のパネル展示や、過去において特に大規模な被害が発生した「昭和13年阪神大水害」や「昭和42年豪雨災害」発生時の貴重な記録の映像放映、治山ダムや砂防ダムの位置を示した六甲山系立体模型の展示を行いました。



六甲山系立体模型の展示

■国土交通大臣賞受賞作品の展示

国土地理院等が主催する「第27回全国児童生徒地図優秀作品展」で「国土交通大臣賞」を受賞された作品「成徳の防災」と題した立体地図を展示しました。

■実験装置の実演

六甲山の災害展では、特に人気がある体験コーナーとして、「土石流模型実験装置」、「保水力実験」、「降雨体験装置 かつぱくん」、災害発生の仕組みが分かる地すべりとがけ崩れの「土木小型模型実験装置」による実演を行いました。来場者からは、「ダムの役割や大切さを知ることができた。」「地震や災害を身近に感じ、更に意識して備えたい。」「災害について学ぶ機会がなかったので、子供と一緒に学ぶことができて良かった。」等、好評をいただきました。



土石流模型実験装置の実演

■まとめ

今年の来場者は2,584名で、昨年の1,457名から8割増となりました。また、アンケート結果では97%の方から「防災意識が向上した」「少し向上した」と回答がありました。中でも、「ハザードマップや防災グッズを確認したい。」という声がとても多く、災害に備える意識が高まっていることを実感しました。

近年の深刻な災害により、災害が身近なものと感じる方が多い今、六甲山の災害展が防災意識の向上に寄与し、いつ起こるか分からない災害に備える術を身に付けていただく機会になったと期待されます。

今後も、県民の皆さまが常日頃から防災意識を高く持ち続け、いざというときの適切な行動に役立てられるように、防災・減災の普及啓発に取り組んでまいります。

（県治山課 清水 真奈美）

森林環境譲与税の活用事例 001 林務課林政調整班

神戸市（森林整備実施計画に基づいた森林整備及び木材利用の推進） 令和4年度

- ▶ 神戸市の森林は、広葉樹林が大半であり、人工林が占める割合は森林全体の7%程度である。
- ▶ 災害防止や生物多様性等を目的として平成24年度に六甲山森林整備戦略を策定し、六甲山系を中心に森林整備に取り組んできた。
- ▶ 林野庁補助事業や県民緑税事業に加え、森林環境譲与税も含めて利用し、森林整備を推進していく。

□ R4年度の主な活用事例

1 林地台帳GISシステム整備

- ・ 経営管理制度の適用を見据えて、林地台帳（人工林を優先）を整備。
- 【事業費】 29,986千円（全額譲与税）
- 【実績】 林地台帳10,110ha分の整備及び当該データのGISへの反映

2 私有林等整備

- ・ 既存事業で対応できなかった私有林(人工林・広葉樹林)の整備を行うとともに、こうべ森と木のプラットフォームの検討・試行運営等を行った。
- ・ 竹林や雑木林などの森林整備（伐採、間伐）や獣害対策に取り組む地元団体に対して活動費等を補助することにより、里山林の整備を支援。
- 【事業費】 103,682千円（うち譲与税88,682千円）
- 【実績】（こうべ都市山再生事業）人工林の間伐、広葉樹林整備ほか（神戸市里山整備支援事業）10団体に対し資機材購入費や伐採委託費等を補助

3 公共建築物の木材利用

- ・ 木材利用を促進するため、建築工事において兵庫県産木材及び神戸市産材を活用。木工事費（材料費及び施工費）に森林環境譲与税を充当。
- 【事業費】 6,440,727千円（うち譲与税48,000千円）
- 【実績】 新鈴蘭台西町保育所ほか木質化2施設



人工林整備と木材活用
(北区有野町唐櫃)



鈴蘭台西町保育所

姫路市（人家裏等における森林整備） 令和4年度

- ▶ 姫路市では、森林環境譲与税を活用し、スギ・ヒノキ等の人工林整備（間伐）は少しずつ進んでいる状況ではあるが、住宅地周辺の森林は整備が進んでおらず、樹木の径木化が進み、豪雨や暴風等による倒木の危険性が高まっている。
- ▶ このため、農村部に多い人工林の森林整備に加え、住宅地周辺における森林（里山林）についても、森林環境譲与税を活用し整備していくこととした。

□ 事業内容

人家裏等における未整備森林に対する整備 (事業名：集落周辺森林整備事業)

- ・ 民家等に影響を及ぼす危険木の伐採
- ・ 竹林を含む間伐等の森林整備
- ・ 枯損木の処理など（ナラ枯れ被害木など）
- ・ 災害に強い森づくり事業（県民緑税）の対象とならないもの

- 【事業費】 18,094 千円（全額譲与税）
- 【実績】 基本調査 A=5.77ha (2地区)
森林整備 A=1.84ha (1地区)

□ 取組の背景

- ・ 民家等に影響を与える危険木の増加（樹木の径木化）及び地元要望箇所の増加
- ・ 都市部周辺における未整備森林の増加により森林の持つ公益的機能の低下
- ・ 豪雨や暴風等による倒木の危険性を危惧



□ 工夫・留意した点

- ・ 事業に関する説明資料を作成し、土地所有者等関係者に説明会を開催し、事業内容を理解していただいた上で事業を実施。
- ・ 危険木伐採や森林整備を充実させるため、現況調査を実施。
- ・ 土地の境界が不明な箇所が多いことから、土地調査を実施。土地調査や承諾書の取得、所有者との調整など、地元自治会の協力を得て、事業を実施。

□ 取組の効果

- ・ 住宅地周辺での森林整備であるため、市民の目に触れる機会が増え、森林の維持管理の必要性を知っていただくことができた。
- ・ スギ・ヒノキ人工林以外の森林整備を住宅地周辺で行った結果、森林環境譲与税の活用策を拡げることでもでき、また、人工林が少ない地域の方にも税の必要性を知っていただく機会になった。

国家技能検定「技能士」を目指して

■ 国（厚生労働省）の技能検定に「林業」が追加！

職業上必要とされる技能の習得レベルを評価するための国家検定制度である「技能検定」に令和6年8月29日に「林業職種」が新設され、指定試験機関に「一般社団法人 林業技能向上センター」（全国森林組合連合会内）が指定されました。

林業従事者の技能向上とともに、林業従事者の就業環境の整備及び社会的・経済的地位の向上、安全性の向上による労働災害の減少に寄与することを目的としており、10月10日から申請受付が始まっています。

概要としては、経験年数で5年以上の1級、2年以上の2級、特に定めのない3級に区分され、実技試験と学科試験両方合格により「技能士」に認定されますが、1級と2級については、実技試験で受け口・追い口作成作業が課題される見込みで、令和7年1～3月に実施予定です。

■ 県立森林大学校での伐木災害防止研修（林業事業体職員向け）のご案内

このような国の動きの中、令和2年度から県立森林大学校主催で実施している「伐木災害防止研修」では、愛林興業(株)の松田取締役が講師をお願いし、伐倒練習

機を用いて伐倒技能を検証するなどにより、的確で安全な伐木作業を学んでいるところです。今年度はこれからの10月31日、12月17日、1月21日、2月18日を予定しており、日によっては、受講者枠に余裕があります。

「技能士」認定に向けて、自らの技能を客観的に評価し、向上を目指す良い機会にもなるとお考えいただけますので、改めて受講を検討してみたいでしょうか。

県立森林大学校のホームページの「研修課などからのお知らせ」に、受講案内の手続きなどが掲載されていますので、そちらもご参考に願います。



研修風景

(公財)兵庫県営林緑化労働基金 村上

森林ボランティア活動

お太子木こりん

代表 松岡 浩規

当会はかつて身近にあった自然を太子町でも体験できるようにとの思いから令和3年に設立し、“森と遊ぶ”をテーマに太子町にある総合公園内の松ヶ下山で毎月第2日曜日に活動しています。活動地である松ヶ下山は長年放置され荒れ果てていましたが、散策できる里山林を目指して太子町・各種団体と協力しながら20名ほどのメンバーとともに散策道の設置、森林整備、自然体験の提供を実施しています。

散策道の設置では幅広い年齢層の方がウォーキングできることを目指し、太子町や地域の自然観察グループと協力しながら、尾根沿いに一から整備しています。森林整備では森林内で安全に遊ぶことを目指し、危険木や枯損木の除去を行っています。また、鬱蒼と茂った森林を間伐することで、森林内の日照を確保しています。ヒサカキなどの低木を除伐する場合は、子どもたちの伐倒体験にも活用しています。



森林整備の様子

自然体験の提供では、活動地が総合公園内にあるこ

とを活かし、伐倒体験・たけのこ堀りなど様々なイベントを企画しています。特に、たけのこ堀りは人気が高く、50人以上が参加し数百本のたけのこが掘り出されています。また、森林内の体験会だけでなく、お正月飾り作りや竹細工等の木工クラフト体験会、星の観察会も併せて開催しています。これらのイベントを通して、親子を中心に森に興味を持つ方を増やしていきたいと考えています。

今後も気軽に参加できるイベントを行いながら、様々な方に活動に加わっていただき、地域の公園を盛り上げる活動を進めていきたいと思っております。そして、立ち上げ時の思いである身近にあった自然の体験を提供してまいります。



人気のたけのこ堀り



正月飾り作り体験会

「第39回ひょうご木材フェア」“木材利用促進キャンペーンin神戸”開催のお知らせ

兵庫県木材利用推進協議会

■はじめに

兵庫県木材利用推進協議会（県内林業関係11団体で構成）では、毎年、木材の良さを実感していただけるイベント「ひょうご木材フェア」を開催しています。

本年も木材利用促進月間に合わせて開催いたしますので、是非ご来場ください。

■開催日時

令和6年10月27日（日）10：00～16：30

■開催場所

神戸ハーバーランド レンガ倉庫通り周辺

■開催テーマ

～脱炭素社会の実現に向けた木材利用の促進～
木材を使って、人に健康を、地域に元気を
～JAS製品を使って安心な木造施設を～

■開催内容（予定）

- ①都市の木造・木質化に不可欠で品質の確かなJAS製品、不燃木材等の展示・紹介
- ②オープンカフェ等に使用するテーブル、イス等の展示・紹介
- ③木造住宅等の内装材や外装材の紹介、木造住宅の支援制度等の紹介

- ④木製の日用品や玩具等の販売
- ⑤親子木工体験、こども棟上げ体験
- ⑥土石流実験装置を活用した治山ダムの有無による土石流に対する危険性と防災意識の向上を図る

■主催・お問い合わせ先

兵庫県木材利用推進協議会
（事務局：兵庫県木材業協同組合連合会）
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号
TEL：078-371-0607 FAX：078-371-7662

【同時開催】

- ①森づくり・木づかいフェア [レンガ倉庫通り周辺]
兵庫県林務課主催 今年度から徴収が始まった森林環境税の目的に関する県民の理解を得るとともに、建築物への県産木材の利用促進を図るため、森林の公益的機能や県産木材利用の意義等についてパネルや木製品の展示等により発信
- ②第28回ラジオ関西まつり [高浜岸壁]
ラジオ関西主催 ラジオパーソナリティによるステージイベント、企業・団体によるブース出展



- 令和6年度のツキノワグマの狩猟については兵庫県全域で禁止です。
- 11月15日から翌年2月15日までの間は、狩猟が解禁となります。ただし、シカとイノシシは3月15日まで。
- 入山者の皆さんは、目立つ服装や鈴やラジオなど、音の出るものを身につけましょう。
- 狩猟者の皆さんは、ルールを遵守し、狩猟事故ゼロをめざしましょう。

◆入山者（林業従事者やハイカー）の皆さんへ

1. 山の中へ入られる際は、黄色など明るい色の目立つ服装を心がけてください。また、白色のタオルはシカの尾と間違えられやすいので、注意して下さい。
2. 土曜日・日曜日・祝日は、狩猟者が集中しますので、特に注意してください。
3. けもの道に仕掛けられたワイヤーロープの「くくりわな」は、非常に危険ですので、わな設置の看板（標識）がある場所へは近づかないでください。

◆狩猟者の皆さんへ

1. クマが生息しない淡路地域及び姫路市家島町のみ、輪の直径が12cmを超えるくくりわなを使用してシカ及びイノシシを捕獲できます。
2. 猟銃の使用が禁止されている場所（鳥獣保護区、休猟区、特定猟具使用禁止区域（銃器）、公道等）では、絶対に銃撃を行わないようにしましょう。
3. 銃撃にあたっては、必ず矢先の安全確認をしてください。また、住居が集合している地域（発射地点の周囲半径200メートル以内）等での銃撃や、人、建物、自動車など弾丸が到達するおそれのある方向への銃撃も禁止されています。（法第38条）。
4. 「わな」には決められた標識を付け（第三者にはずされない工夫を行ってください）、見回りを励行しましょう。また、設置の際は地域住民や入山者等へは充分配慮を行ってください。
5. 他人の土地や森林に立ち入って、自由に狩猟する権利が認められているわけではありませんので、土地所有者等から立ち入りを断られた場合には、狩猟を行わないようにしましょう。
6. 特に、さく等で囲まれた土地や作物のある土地に立ち入る場合は、土地所有者（占有者）の承諾を得ることが法律で定められています。
7. また、「国有林野」や「官行造林地」に立ち入る場合には、事前に「入林許可証」の交付を受けてください。
8. 令和7年1月5日から19日までの間、全国一斉に「ガン・カモ調査」が実施されますので、カモ猟の自粛をお願いします。
9. 法律や狩猟マナーを守り、無理のない、心にゆとりのある狩猟を心がけましょう。
(兵庫県環境部自然鳥獣共生課)

花粉の少ない森林づくりシンポジウム IN 兵庫県
参加者募集中

- 林野庁における花粉発生源対策
林野庁森林利用課
- 花粉の少ない品種の開発
(国研)森林総合研究所
- 兵庫県における花粉発生源対策
兵庫県林務課

と き: 令和6年11月7日(木) 13:30~16:00
と ころ: 兵庫県土地改良会館6F 定員 80名
参加申込受付中(参加無料)兵庫県林業改良普及協会 菅原まで
TEL:078-351-3341 FAX:078-351-3383
主催 全国林業改良普及協会 兵庫県林業改良普及協会

「森林林業技術センター公開デー」開催のお知らせ

- 開催日時 令和6年11月17日(日) 10時00分～15時00分(雨天決行)
- 開催場所 兵庫県立農林水産技術総合センター 森林林業技術センター
【兵庫県宍粟市山崎町五十波430】
- 開催内容
 - ・施設見学ツアー(試験研究エリアを特別公開)
 - ・研究成果・開発技術のパネル展示/木の根っこのホログラム展示
 - ・無料体験・イベント(丸太ダーツ・チェーンソーアート実演ほか)
 - ・販売コーナー(オリジナル木製品)
 - ・来場者には木製品のプレゼント(先着200名様)
- 問合せ先 兵庫県立農林水産技術総合センター
森林林業技術センター
TEL.0790-62-2118



— ひょうごの木で家を建てませんか? — 「ひょうごの木の家」設計支援事業

- 兵庫県では県産木材を使った家づくりを応援しています!
居室の梁、柱、天井、壁、床のいずれか見える場所に県産木材を使用した新築木造住宅の設計費を補助
- ▶ 県産木材使用率30%以上…30万円/件
- ▶ 県産木材使用率概ね80%以上かつ横架材に県産木材を使用…40万円/件
- 対象者や補助要件については、右上のQRコードからウェブサイトをご覧ください。いただくほか、下記にお問い合わせください。
- ひょうご森づくりサポートセンター(兵庫県木材業協同組合連合会内)
Tel.078-371-0607(平日9時～17時)



農林業の現在を知る大規模調査

2025年 農林業センサス

令和7年2月1日現在

あなたの回答が 農業・林業の未来につながる

詳しくは、農林業センサス Web サイトをご覧ください。

調査の目的

農林業センサスは、5年ごとに、我が国の農林業を営む方や農山村の実態を明らかにする調査です。農林業に関する最も基本的で、重要な統計を作成することを目的としています。

調査の対象

- 1 農林業経営体調査
全国の農業・林業を営むすべての方を対象とします。
- 2 農山村地域調査(農業集落調査)
全国の農業集落を対象とします。

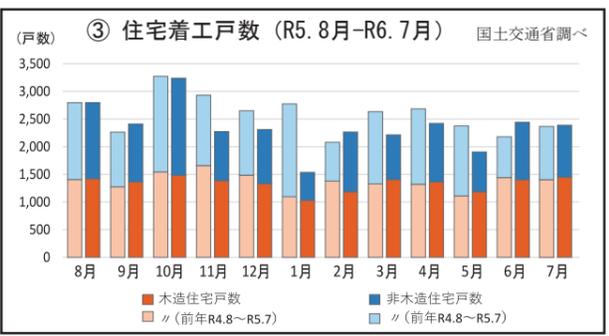
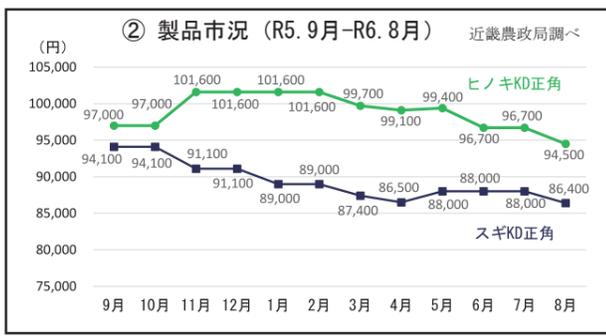
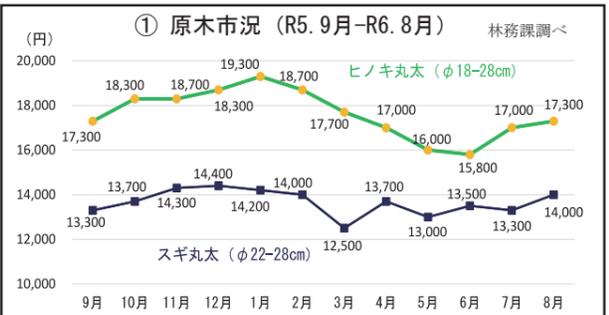
調査時期	農林業経営体調査	農山村地域調査(農業集落調査)
2024年12月上旬～2025年2月末に実施	2025年10月上旬～2025年12月末に実施 <small>農林業経営体調査と実施時期が異なります。</small>	
調査内容	経営している農業の種類、農業・林業の労働力、経営耕地、保有山林、農産物・林産物の販売 など	寄り合いの開催状況、農地、水路、森林等の保全活動、実行組合の有無 など
調査方法	統計調査員により調査票の配布と回収を行います。統計調査員の回収に替えて、オンライン(スマートフォンやタブレット)による回答も可能です。	農業集落の代表者の方などに、農林水産省が委託する民間事業者が調査を実施します。

明るい農林業・農山村を次世代へつないでいくためには、農林業センサスへのみなさま一人ひとりのご協力が必要です。調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

農林水産省

<兵庫県内の原木市況・製品市況・住宅着工戸数>

- ・原木は、スギ・ヒノキともに下げ止まり、8月は出材量が例年よりも少なく品薄高となった。
- ・全国的にプレカット工場の稼働率が低迷し、製品の荷動き鈍く、本県においてもスギ・ヒノキ共に弱含みで推移している。
- ・住宅着工戸数は、前年同月割れが続いていたが、6月以降は持ち直した。木造住宅は、3月以降は前年並みを維持している。



Husqvarna

■540XPMarkⅢ ■T540XPMarkⅢ

- 質量: 4.1kg ■質量: 3.8kg
- 排気量: 39.1cm³ ■排気量: 39.1cm³
- 出力: 2.8KW ■出力: 2.8KW

本当の価値がわかる方へ!

最高のパワーウェイトバランスで耐久性も抜群。生産性をさらに高めるチェーンソー。革新的な技術を融合し、これまで以上の加速とトルクで他に類のない鋸断能力を発揮します。新登場540XPMarkⅢ、ぜひお試しください。

愛林興業株式会社
 本社 姫路市飾磨区恵美酒294-3 TEL (079) 234-8181(番代)
 神崎店 神崎郡神河町吉富1409-2 TEL (0790) 32-0570番
 但馬店 養父市上野1357 TEL (079) 664-2101番

三井化学グループ エムシー緑化の松枯れ防除剤

松枯れ防止樹幹注入剤 マツガード®

マツガードクイック®

ハダニの適用拡大

マツノマダラカミキリ後食防止殺虫剤 マツガードフラッシュ®

販売元 正和商事株式会社 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目3番4号
TEL 06-6203-4541 FAX 06-6203-4347



森林整備・造園・法面・土木・設計施工管理

緑と笑顔が私たちの基本です



株式会社 西村 鳳 晃 園

豊岡本社 〒688-0051 兵庫県豊岡市九日市上町846-1
TEL (0796) 23-5611 FAX (0796) 22-4529
URL [http://fuukouen.com] E-mail [seifuu@skyblue.ocn.ne.jp]
・姫路本店
・神戸営業所

あなたの町の森づくり
木材利用・木育をサポートします

ひょうご
森づくりサポートセンター

森林環境譲与税や森林経営管理法に関すること、
県産材や地域産材の利活用に関する事など
何でもお気軽にご相談ください。

■ 神戸市中央区北長狭通5-5-18 ひょうご森づくりサポートセンター URL: www.hyogoforest.or.jp
森林整備 ☎: 078-599-7461 (ひょうご森林林業協同組合連合会内)
木材利用 ☎: 078-381-0607 (兵庫県木材業協同組合連合会内)

“治山・林道測量”
は経験と実績のある

株式会社 石原測量コンサルタント

〒671-2542 兵庫県粟粟市山崎町船元250-1
Tel (0790) 63-1377
FAX (0790) 63-1398
E-Mail ishisoku-y@wine.ocn.ne.jp

国土交通省登録第24891号
県知事許可(般-2)第461481号

災害のない安全で安心な社会

- 治山、林道、造林事業の推進
- 山地防災・土砂災害対策計画

一般社団法人 兵庫県治山林道協会
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18
TEL: 078-371-0210 FAX: 078-371-6632
HP 兵庫県治山林道協会

ひょうご木の匠の会
兵庫県産木材の家

私たちは、兵庫県産木材を使い、人と環境に
優しい木造住宅を提案し建築します。

ひょうご木の匠の会 会長 日置 尚文 (日置建設(株))
(事務局) 神戸市中央区北長狭通5-5-18 兵庫県林業会議
https://hyogo-kinotakumi.com TEL: 078-351-3341

緑の募金へのご協力をお願いいたします

いつも緑の募金にご協力いただき、ありがとうございます。
緑の募金は、森林ボランティア活動への支援や、
子どもたちの環境学習などに活用しています。
ご協力いただける場合は、次の方法をお願いいたします。

● 賛助会員入会のご案内 ●
私たちの活動を応援してくださる
賛助会員を募集しています。
入会金は不要です。
会員としてご支援いただけますよう
お願いいたします。(1口10,000円/年)

◇ お問い合わせ ◇
公益社団法人 兵庫県緑化推進協会
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号
TEL 078-341-4070 FAX 078-341-4071
HP https://hyogo-green.net/

ご寄附の方法

- 金融機関からのお振込み
 - ① 郵便局 (手数料不要)
専用の払込取扱票をお送りしますので、当協会にご一報ください。
 - ② 銀行 (手数料必要)
口座: 三井住友銀行 兵庫県庁出張所
普通 3198438 公益社団法人兵庫県緑化推進協会
- キャッシュレス決済 (手数料不要)
ソフトバンクの「つながる募金」からキャッシュレスでご協力いただけます。

募金のページQRコード

兵庫県緑化推進協会 検索

緑を育み水をつくる水源林造成事業

分取林方式により、水源林造成事業を進めています
対象地は無立木地など、公益的機能の低下した水源かん養保安林です

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林整備センター近畿北陸整備局

神戸水源林整備事務所 TEL (078) 362-5800
FAX (078) 362-5802

兵庫県水源林造林協議会 TEL (078) 351-3341
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号
(兵庫県林業会館内)

土・木・緑・そして人
とりもどそう 人にやさしい環境

株式会社 グリーン興産

〒671-4141 兵庫県粟粟市一宮町東河内1003
TEL 0790 (72) 1553 FAX 0790 (72) 2327

GREENKOUSAN

営業品目

- 森林部門 …… 素材生産・森林整備・危険木伐採
- 土木部門 …… 公共土木・一般土木工事
- 緑化部門 …… 公共緑化工事・一般造園工事
- 建築部門 …… 新築・リフォーム・エクステリア工事

E-mail: info@greenkousan.co.jp
URL: http://www.greenkousan.co.jp

ひょうごの木物語

第10回 先人の鼓動が聞こえる茅葺き舞台

「葛畑農村歌舞伎舞台」(養父市関宮町葛畑)

概要

葛畑農村歌舞伎舞台は、氷ノ山山麓の葛畑集落(現在35戸)奥の谷あいにはっきりと佇んでいます。

古くから農村歌舞伎は、雨乞い祈願や農閑期の娯楽として各地で親しまれてきました。葛畑の舞台は、農村歌舞伎舞台で大切な7つの機構を備え、民俗学や演劇学上優れた舞台であることから、昭和43年に国の重要文化財に指定(県下で3棟)され、現在では、集落から養父市に移譲され大切に管理されています。

歴史

葛畑集落では天文13年(1554年)に地元神社の境内に芝居堂が建てられ、現存の舞台は明治25年に本格的な歌舞伎舞台にするため、上方の舞台建築技術を習い、村人総出で改築したと記録にあります。農閑期には、地元での上演にとどまらず周辺の村々や山陰海岸の地方に巡業するなど昭和初期までは盛況でしたが、満州事変後、昭和9年の公演を最後に支那事変、第2次世界大戦と社会情勢の変化に中断を余儀なくされました。



美しく、のどかな風景に囲まれる農村歌舞伎舞台



背面の襖には、田楽がえしが仕込まれている

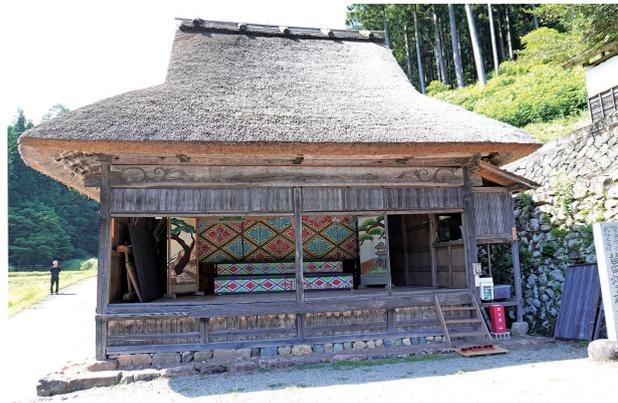


H30子ども歌舞伎(養父市提供)

戦後もしばらくは利用されず、その後の急激な経済成長の中で、過疎化やテレビの普及など農山村の暮らし方に大きな変化が生じ、歌舞伎も村人から忘れられようとなりました。

やがて建物も老朽化し、一時取り壊しの話も出るほどでしたが、昭和39年に国や県の調査による文化財としての重要性が認識されたことから、地元の保存会が盛り上がり、修復工事が行われました。

歌舞伎は、S39、41、H15と復活公演が行われましたが継続した上演には至らず、屋根葺き替えやイベントの際に上演されていました。現在では「関宮こども歌舞伎」に引き継がれ、市民会館等を利用して、但馬一円から応募した小中学生による練習や定期公演が行



葛畑農村歌舞伎舞台全景 (S51昭和の大修理、H30屋根葺き替え)

われています。

特徴

葛畑の特徴は、①回転式舞台、②花道、③二重台、④下座、⑤ブドウ棚、⑥遠見、⑦ガンドウと、7つの舞台構造を備えているほか、田楽がえし、スッポン、奈落、からくりなどがあります。特徴的なものを紹介しますと

回転式舞台

舞台中央に直径4.1mの回り舞台があり、径25cm長さ2mのヒノキの心棒に支えられており、奈落から大人4人で回す仕組みです。奈落は、半地下にあり大人がゆうに立てる高さがあり、楽屋にも使われます。

田楽がえし

二重台の上に襖十枚を建て、1本の長い竹竿に十枚の襖を紐で結び、この竹竿を引くことにより一瞬のうちに90度回転させ、間から遠景を見せたり、180度回転で襖の反対の背景に替えることができます。

スッポン

舞台前方やや上手に50cm四方の穴が開けてあり、役者が舞台に出入りするセリ上げとなります。

このようにワクワクするような機能があるため、現在進行形のレガシーになればより素晴らしいと感じました。



上: 回り舞台の心棒と奈落内部



下: 舞台前方にあるスッポン



回り舞台と二重台

(「ひょうごの木物語」取材チーム 菅原 健)